

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学		必修 (福) 選択 (理.作)	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
柁木 隆寿	B306	t.masaki		金曜日 14:40~16:40	
授業の目的・概要	<p>〈目的〉：心理学の基本的な知識を習得する。我々の日常生活、そして医療・福祉領域における様々な問題・現象を心理学的な観点から考察できるようになる。</p> <p>〈概要〉：心理学とは、科学的なアプローチを用いて「こころ」、そして「行動」の機能や構造を明らかにしようとする学問である。近年、テレビやインターネットで様々な心理学の言説が溢れているが、その中には科学的とは言えないものが多い。本講義では心理学の多様な方法論とともに、各研究領域で得られている知見を紹介し、科学的な心理学とは何かを解説する。</p> <p>授業方法としては、配布資料と課題による遠隔授業、そして同時双方向型の遠隔授業を行う。メール、Microsoft Teams を利用し、課題のフィードバックや受講者の意見交換の機会を設け、心理学の知識の定着を図る。</p>				
学習上の助言	<p>毎回講義に出席し、積極的な態度で受講することを望む。また、授業時間外に課題を行うことも多くなるので、計画的に事前事後学習を行うこと。その他、備考欄を参照せよ。</p>				
教科書	心理学理論と心理的支援 第3版 (新・社会福祉士養成講座2) / 社会福祉士養成講座編集委員会 (編) / 中央法規出版				
参考書	心理学 第5版 / 鹿取廣人 他 (編) / 東京大学出版会 心理学・入門ー心理学はこんなに面白い / サトウタツヤ 他 / 有斐閣				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学の基本的な概念を説明することができる。			HSU (2)	
②	心理学の諸理論を用いて、日常生活における様々な行動を説明することができる。			HSU (2)、HSU (3)	
③	医療・福祉分野における心理学の役割を理解し、自分の言葉で説明することができる。			HSU (3)、HSU (5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	オリエンテーションー心理学のイメージと実際について学ぶ。 フィードバック：メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会：メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料、補助資料、教科書を使用し学習を進める。資料に記載された課題に取り組む。	2.5	
2	心理学とは何か？1ー心理学の歴史・他の学問領域との関連について学ぶ。 フィードバック：メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会：メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料、補助資料、教科書を使用し学習を進める。資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
3	心理学とは何か？2ー心理学の歴史・他の学問領域との関連について学ぶ。 フィードバック：メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会：メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料、補助資料、教科書を使用し学習を進める。資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
4	心は何から成り立っているか？ー心の生物学的基盤について学ぶ。 フィードバック：メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会：メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料、補助資料、教科書を使用し学習を進める。資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
5	ものが見えるということ1ー感覚・知覚について学ぶ。 フィードバック：メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会：メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料、補助資料、教科書を使用し学習を進める。資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
6	ものが見えるということ2ー感覚・知覚について学ぶ。 フィードバック：メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会：メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料、補助資料、教科書を使用し学習を進める。資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
7	環境への適応1ー学習・行動について学ぶ。 フィードバック：メールにて課題提出後に実施 意見交換の機会：メールにて課題提出後に実施	印刷教材等による授業	ガイダンス資料、補助資料、教科書を使用し学習を進める。資料に記載された課題に取り組む。	3.5	
8	環境への適応2ー学習・行動について学ぶ。	同時双方向型授業	学習理論の専門用語を覚え、それを用いて日常例を説明できるようにする。	3.5	
9	その「思い出」は本物か？ー記憶・認知について学ぶ。	同時双方向型授業	記憶の種類、特徴について整理する。	3.5	

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

10	「悲しい」から「泣く」のではなく、「泣く」から「悲しい」－情動・感情について学ぶ。	同時双方向型授業	情動・感情の諸理論についてまとめる。	3.5					
11	幸福に生きるためには？－ストレス・健康について学ぶ。	同時双方向型授業	自らのストレス経験、対処方法について考え、まとめる。	3.5					
12	血液型性格診断は本当？－パーソナリティ・知能について学ぶ。	同時双方向型授業	パーソナリティ、知能の諸理論について整理する。	3.5					
13	個人と集団－社会心理学について学ぶ。	同時双方向型授業	各現象について身近な例を用いて説明できるようにする。	3.5					
14	「生まれ」と「育ち」－発達心理学について学ぶ。	同時双方向型授業	発達心理学の諸理論について整理する。	3.5					
15	心の病気と治療－臨床心理学について学ぶ。	同時双方向型授業	臨床心理学の諸理論、方法について整理する。	6					
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		70	0	0	0	30	100		
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60		
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。専門用語を正しく理解し、それを用いて日常例を説明できるようにしておく必要がある。つまり、ただの専門用語の暗記ではなく、心理学的観点から各事例を説明できる能力が高い評価につながる。				学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して総評を行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④								
	⑤								
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	印刷教材等による授業では、メールで提出された課題の内容を採点する。授業の理解度、そして各自が調べた内容の妥当性、問題発見能力を評価する。 8回目からの同時双方向型の授業では、Teams 上でリアクションペーパーの提出を求め、その内容を採点する。リアクションペーパーには講義中に出される課題への解答、および講義内容に対する理解、発見、疑問などのコメントを記述することになる。内容の妥当性、問題発見能力を評価する。				講義中及びオフィスアワーにて総評を行う。メールや Microsoft Teams を利用して、個別にフィードバックを行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④								
	⑤								
	⑥								

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

備 考

本講義は、「社会福祉士」国家資格受験および「精神保健福祉士」国家資格受験の指定科目である「心理学理論と心理的支援」に対応する講義である。総合基礎科目としての一般教養的な性質も本講義は有しているが、本質的には国家資格受験を念頭に置いた内容、学習量となっている。つまり、簡単に単位取得できるような講義ではないので、国家資格受験はもちろん、自らの将来に心理学の知見を役立てたいという強い意志を持った学生が本講義を履修することを望む。なお、受講希望者多数の場合は、講義の質を確保するため、選択科目として履修する学生については履修制限を行う可能性もある。その場合、第 1 回目の授業に出席した学生の履修を優先するので留意すること。

また、学習課題・学習時間の欄に記載されている時間に加え、講義中に紹介した図書、映画、動画資料などを閲覧し、心理学の素養をさらに深めることを課題として課す（20 時間）。

実践的授業の内容：各回において、簡単な心理学実験や調査を体験する。その体験内容や、準備学習で調べてきた事項についてディスカッションなどを行い知識の定着を図る。また、e-learning を用いて各回の内容確認を行い、より深い理解を目指す。

※Microsoft Teams を使って同時双方向型の遠隔授業を行います。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスが変更される場合があります。